

● 輸出製品の構成

・ 令和5年の輸出額は1兆427億円で、産業別では、輸送用機械器具製造業と生産用機械器具製造業の上位2産業の輸出額で、全体の5割以上を占めている。[11]

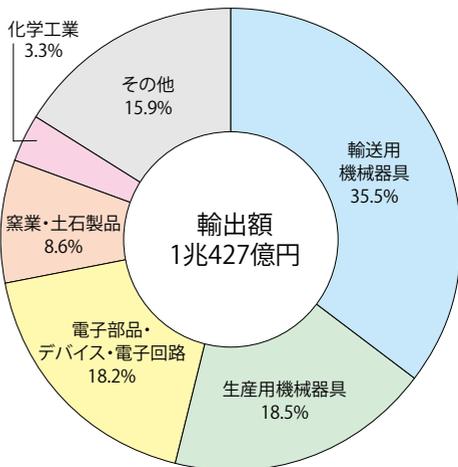
● 輸出先・圏域別輸出額

・ 輸出先はアジアが電子部品・デバイス・電子回路製造業を中心に5086億円と最も多く、次いで西欧が輸送用機械器具製造業を中心に1794億円となっている。[12]

・ 圏域別では、西濃圏域が3316億円と最も多く、次いで中濃圏域が2656億円となっている。[13]

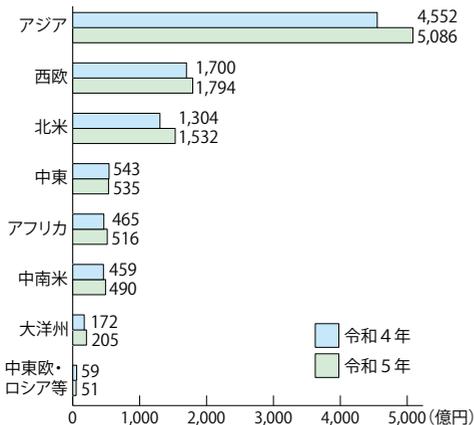
1-1 輸出額の産業別構成比

(令和5年)



資料：岐阜県輸出関係調査

1-2 輸出先別輸出額

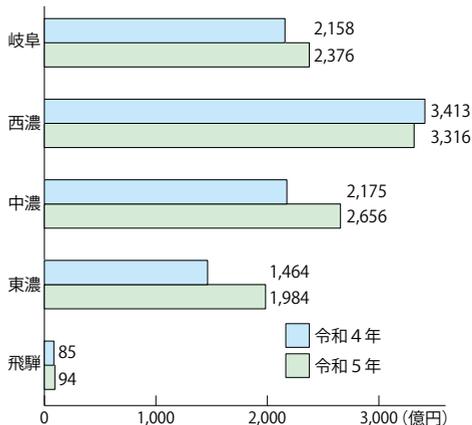


注) 1 不明を除く

2 令和4年と5年では、調査対象事業所の把握方法を変更しているため、調査結果の単純比較はできないことに留意されたい

資料：岐阜県輸出関係調査

1-3 圏域別輸出額



注) 令和4年と5年では、調査対象事業所の把握方法を変更しているため、調査結果の単純比較はできないことに留意されたい

資料：岐阜県輸出関係調査

1-4 輸出関係の主要指標 (従業者4人以上事業所)

区分	事業所数		区分	輸出額	
	事業所	対前回増減率		百万円	対前回増減率
令和4年	340	%	令和3年	796,210	3.8
5	329	△ 3.2	4	929,463	16.7
6	562	—	5	1,042,658	—

注) 1 事業所数については、表示年次の6月1日現在の数値

2 金額については、表示年次1年間の数値

3 令和4年事業所数(令和3年輸出額)の対前回増減率は、令和2年事業所数(令和元年輸出額)からの増減率

4 令和6年事業所数(令和5年輸出額)と令和5年事業所数(令和4年輸出額)では、調査対象事業所の把握方法の変更により

単純比較はできないため、対前回増減率を該当なしとしている

資料：岐阜県輸出関係調査